

意見・質問・提案及び回答の概要	
質問・意見・提案	回答
第1部（於：まほろばホール 小ホール）	
”河合愛AI構想”について	
町職員が一軒一軒回ってでも住民と町のために相対していく姿勢がなくては町民に町への“愛”は芽生えない。	河合町の方々は“温かい”“人に優しい”というお声を町外の方々からお聞きし、それが河合町の魅力として再認識していますので、それをこれからのまちづくりの一つにして生かしていきたいです。
どういう形で住民のアイデアや声を生かして取り組んでいくのか。	まちづくりのベースは役場が考え、具体的な内容や取組みは来年度からもう少し小さな単位で住民の皆さまと対話をしながら進めていきたいです。
夢ばかり語っているが、具体性がない。	夢はあきらめない姿勢で、一つでも二つでも実現させていき、皆さまにご報告していきたいです。
人工知能「AI」も視野に入れているとあったが、どういうことか。	役場の仕事も少ない人員でも効率的にまたゆとりをもって仕事をしていくことで住民サービスの向上につながるため、将来的に「AI」の活用も念頭に置いておくべきと考えます。こういった形で使っていくことが良いかは今後皆さまのご意見も踏まえて考えていきたいです。
「三つの柱」を基本とした委員会を、町の若手職員や公募住民を参画させて立ち上げるべき。	
公共施設再編やバリアフリーなど、担当課を明確にして進めていくべき。	
「河合愛AI構想」の説明に具体的な内容がないが、今後一つずつでも具体的な内容を情報発信していかないと構想で終わってしまう。	
まだ、具体性がないので、今回の計画を横展開していき河合町全体に広めていってほしい。	
”ファシリティマネジメント（公共施設再編）”について	
例えば、観光ボランティアの活用も含めた、池部駅前に馬見丘陵公園に行かれる方への観光案内のおもてなしの場所があれば良いのではないかと。	池部駅を降りたら、そこは馬見丘陵公園の入り口と思えるような場所になるよう、奈良県とも連携して進めていきます。
河合第三小学校跡地の空き教室の一室を各種団体のミーティングができる場所として無料開放してほしい。	いただいたご意見も参考として計画をつくっていきます。
河合第三小学校跡地の利活用について住宅地にする案もあったと思うが、結局どういう形にするのか。	本件についての案はたくさんありますが、住民の皆さまが一番良い形になるように、来年度から今回より小単位で意見を吸い上げていき、固めていきます。
”教育のまち”について	
教師のいじめ問題の報道で教育現場の心配があるが、子育て、教育はどのように考えているか。	子どもにとって、一番大事なことは心の安定につながる教育と考えています。心の安定は学力、体力の向上にもつながりますので、学校、PTAとも協力して、子どもたちがこの部分を大事にした体験、経験ができる仕掛けをしていきたいです。
PTA活動について、平日に活動することは共働き世帯にとっては厳しいので町でケアできないのか。	あくまでも任意団体ですので、町が介入し指示することはできませんが、職員がPTA会合に参加し、いただいたようなご意見があることは認識しております。

意見・質問・提案及び回答の概要	
質問・意見・提案	回答
第1部 (於：まほろばホール 小ホール)	
ICT教育を推進することは評価するが、その中でプログラミングについての情報が保護者に届いていないので早急に対応すべき。	ICT教育の指導方法も色々変わってきておりまして、その中でプログラミング教育についても教員はその対応をしています。
心の教育が大事であれば、タブレット等の機械ではなく教員や地域の方々からの教を重視すべき。	一人一人に目が届くことができるクラスの児童数、読書の時間、さらに多様な時代に備えた人権教育も含めて「ゆとり」のある教育を進めることが心の教育につながると考えています。
河合町の昔ながらの歴史などを丁寧に子どもたちに教える方が河合町を愛する子どもたちが増えるのではないか。	おっしゃるとおり河合町の原点を子どもたちに伝えることは重要です。その方法の一つとしてかつて、大和川の水運の要所で賑わいがあった川合市場地区の昔を題材にした漫画を作成し、小学校中学年の社会科副読本の中に取り入れる予定です。
”子育て環境”について	
共働きで双子の小さな子どもがいる家庭でも送迎も含めて安心して預けられる認定こども園になっているのか。	現在、ご意見をいただいた内容は職員同士で相談しケアできるよう進めています。令和元年12月1日付けで子育て支援課を新設し、窓口も明確になりますので、全力でサポートしていきます。
子育ての面で、学童保育の延長時間を近隣町並み(19時程度)にすべきなのではないか。	本件については、議会からも意見をいただいております。現在現場の職員も含め協議を重ねているところです。
「河合愛AI構想」の三つ柱で子育て環境の充実が一番重要で、これが充実しないと若い世代は入ってこないの、河合町の発展はない。	三つとも大事なことですが、子育て環境については認定こども園を中心にして、河合町は子育てしやすい町であるということを経営発信していきたいです。
子育ての面など地域の力を積極的に使ってほしい。	
その他	
財政再建について具体策は。	色々な切り口はありますが、例えば新しく個別外部監査を導入し、償却資産に対する課税を見直していくことで収入増を図ります。
河合町の財政状況が厳しい原因の一つは人件費総額が高いとわかったが、何らかの削減の対処は考えているのか。	平成17年度以降職員採用を停止しており職員の高齢化により、人件費総額について高くなっています。それも踏まえ、これまで、三役含め、町職員も役職等によって段階的な率による給料カットを実施してきており現在も継続しています。それでも財政状況の見通しが立たない場合は新たに削減策を検討します。
企業誘致を積極的にしていくとあったが、トップセールスをしなければ簡単には誘致できない。	例えば廣瀬神社横から川西町へ続く県道が来年3月に開通予定であることや、県道天理王寺線のような基幹道路があることも含めて企業誘致を考えていきます。
河合町の良いところはたくさんあり、それを発信しきれない。	町のホームページを刷新することや、広報誌の構成を見直していきます。
町長へのメッセージについて「いつまでにする」ということを明確にして回答すべき。	

意見・質問・提案及び回答の概要	
質問・意見・提案	回答
第2部（於：第一小 多目的ホール）	
”河合愛AI構想”について	
「河合愛AI構想」の期間はいつまでか。	いつまでということはまだ策定できていませんが、やれるところはやるという意識を持って取り組んでいきます。
「河合愛AI構想」も町長の強いリーダーシップで絶対にやっていくと訴えていくことで住民も協力していくのではないかと。	まだ、概略しか言えていませんが、実際、奈良県からも池部駅前馬見丘陵公園の玄関口として注目されていますので、この地域を動かしていく時期にあると思います。また、個別外部監査を導入し収入増や無駄を省く取組み、さらに公共施設の見直しも含め実施していくにあたりましては皆さまに説明していきます。
計画を作成するのはよいが、PDCAサイクルを確実に回していくべき。	例えば若手職員が一定期間、役場案内係（コンシェルジュ）に配置したことや広報誌の編集委員にも入ったことなど、ソフト面では様々な改革を実施していますので、これらを検証し進めていきます。
”ファシリティマネジメント（公共施設再編）”について	
豆山の郷の喫茶コーナーやお風呂を復活して楽しい場所にできないのか。	喫茶コーナーは社会福祉協議会のボランティアにお声がけし近々開設できる予定です。またお風呂の関連修理だけではなく、この機会に様々な点から館全体の改修を踏まえた議論を豆山の郷運営協議会でしていただき、集約し対応していきます。
第三小学校跡地は子どもにとっても楽しいところにしたいと思います。	役場の中でも様々な形を考えています。いただいたご意見のように今後も住民の皆さまからご提案をいただいて参ります。
”教育のまち”について	
子どもは地域でも育つので第三小校区の子どもはすべて第二小に通うべきではないか。	第三小校区の児童が第二小へ安全に通学できるように議論してきました。その中で、第二小より第一小の方が近くで、安全に通学できると保護者が認める場合は特例的に第一小に通学できると決定しました。
認定こども園は教育と運営面でこういった良い面があるのか。	保護者の就労に関係なくお子さまを預けられる点や、同じ歳のお子さまが同じ教育を受け小学校に上がっていきける点でメリットがあるとされています。
ICT教育については活用の幅が広がる分、先生方の中でも得意、不得意があると思うのでその差をなくすようにすべき。	各学校でICT教育の評価をしております。小中学校の先生同士でICT教育のスキルアップを図る交流も実施しています。その点では小中連携としてうまく機能していくよう進めていきます。
小中だけではなく幼小中連携についても河合町独自の取組みをしていくべき。	
ボランティアを活用した町が主催の学習支援があれば助かる。	

意見・質問・提案及び回答の概要	
質問・意見・提案	回答
第2部（於：第一小 多目的ホール）	
一小、二小、また一中、二中との交流が活発になれば良いのでは。	
ESDやSDG sの取組みを小中連携の教育の中でも取り入れるべき。	
その他	
住民の意見を聞いてもらえる窓口を設置してもらうことで、行政と住民との距離感は縮まるのではないか。	今回のようなタウンミーティングがおっしゃるような機会であると認識しておりますが、来年度からもう少し小さな単位で対話していくことで、距離感は縮まるのではないかと考えています。
同じ世代や境遇などの枠組みでタウンミーティングはしてもらえるのか。	テーマによってはおっしゃるような枠組みで実施していきたいです。
役場の幹部に女性職員を入れた方が色々な意見が出るのではないか。	町の女性職員もスキルの高い方がいますので、人事配置について検討していきます。
すな丸号の運転手によって気遣いに差があるので、安全運転は基本であるが、それ以外の接遇など利用者からのアンケートも踏まえて採用条件に加えてほしい。	安全運転はもちろんですが、それ以外におもいやりを持った接遇も求めていきます。また、アンケートも踏まえ、住民の皆さまが快適に使っていただけるようルートも検討していきます。
ボーイ（ガール）スカウトに注目し、子どもが野外活動できる機会を増やす。	
町民である分野で高い技術を持っている方がいるので、資格調査をして人材発掘してみてもどうか。	